

ロプ人的資本経営（ウェルビーイング、心理的安全性）支援サービス

株式会社ロプ

人的資本経営、その中でも中核となるウェルビーイング、心理的安全性を高める支援を行います。

<https://wellcoco.jp/public/providers/svcview/4d668fc2-5bfe-4323-b079-fe33fa79784f>

サービス分類・提供内容（選択式）		サービス概要・特徴（500文字以内）
体制・業務構築支援	産業保健体制構築支援	<p>ロプストレスチェック&意識調査等のデータを活用し、人的資本経営の中核となるウェルビーイング、心理的安全性向上の施策、対策構築支援、研修等を行います。</p> <p>★客観データに基づく分析 顧客企業・組織で独自調査されたデータの分析、その後の展開の実施、支援を行います。 ウェルビーイング、心理的安全性ともその概念構築を行い、両概念の実現により、職場風土の改善、十分な価値創出につながる体制を構築します。 必要に応じて、意識調査の設計からの対応も行います。データベースとしてロプがこれまで蓄積してきたデータベースの活用も行っています。</p> <p>★会社・組織全体への展開 調査結果の展開では、前述の経営陣への報告会、管理職層への報告及びワークショップ・研修の実施、状況に応じて新たな職場改善の仕組み作り、人材育成支援、人事制度の改善等も行っています。</p> <p>その具体的方法として、ビジネススクール型のケースメソッドを十分活用します。単なるケーススタディと異なり、ケース討議を通じて、企業経営、職場風土醸成といった組織的対応に展開可能な内容となります。</p>
	健康経営推進支援	
	ストレスチェック制度対応支援	
	ハラスメント対策支援	
	過重労働対策支援	
	復職支援に係る体制・業務構築支援	
人事・労務向けアドバイザー		
調査・分析支援（人的支援）	○	
現状把握・分析システム	ストレスチェックシステム	
	パルスサーベイ・従業員意識調査	
	健康・労務データ統合分析システム	
組織づくり・職場環境改善	組織開発コンサルティング	
	管理職向け研修	
	従業員向け研修	
管理職向け個別支援		
従業員支援	相談窓口・カウンセリング	
	セルフケア研修	
	セルフケア支援アプリ	
	復職支援	

期待される効果	根拠の詳細		
【凡例*】○:実証評価>○:導入企業の評価>●:理論的裏付け	導入企業の評価	理論的裏付け	実証評価
基盤整備	1. 法制度対応		—
	2. 制度・施策体系の整理		—
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減		—
	4. 組織状況の把握	○	—
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上		
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上		
	7. プログラムへの参加率・利用率向上		
	8. 不調の早期発見・対応		
	9. ヘルスリテラシー・意識向上		
	10. 仕事のストレス要因低減		
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上		
	12. 周囲のサポート力向上		
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善		
	14. 健康状態・心理指標改善		
	15. アブセンティーズム改善		
	16. プレゼンティーズム改善		
	17. ワーク・エンゲイジメント向上		
	18. 従業員エンゲイジメント向上		
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）		

*ウエルココ上で掲載される際に複数の根拠がある場合は、凡例の優先順で表示されます。

理論的裏付け（500字以内）

導入企業の評価（500字以内）
<p>現在、ストレスチェックデータ及び意識調査を活用した組織課題、各職場単位の課題の客観的分析を行うとともに、経営陣への報告会、各部署の管理職、監督職とともにワークショップ形式での研修を行っています。</p> <p>社内で実施した他社調査とロプで実施した調査のデータを突合ならびに統合することで、さらに詳細に課題の把握、対応策の構築も実施することもあります。</p> <p>導入企業からの評価 ストレスチェックの分析のみに留まらず安全衛生全般について、専門的な側面より支援いただいている。分析結果の報告書は非常に分かりやすく、自社の状況を的確に把握することができるものとなっている。</p> <p>また、常に産業医2名（内科医・精神科医）と直接連携いただき、中からは見えない社員の健康保持増進について、表面的な分析ではなく、深層的な要因を掘り下げて分析いただき、当社にとって今何が必要か、分析結果を今後の組織改善にどのように活かせるか、具体的な提案と有効な対応策を共に検討いただいている。</p>

実証評価				
<table border="1"> <tr> <td>学術介入の有無</td> <td>エビデンスの水準</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>（学術介入有りの場合）氏名・所属・専門、掲載文献・発表した学会・演目名（500字以内）</p>	学術介入の有無	エビデンスの水準		
学術介入の有無	エビデンスの水準			
<p>実証評価の結果概要（500字以内）</p>				

ロボ人的資本経営（ウェルビーイング、心理的安全性）支援サービス

株式会社ロボ

様式3 導入企業の評価

該当する効果	
基盤整備	1. 法制度対応
	2. 制度・施策体系の整理
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減
	4. 組織状況の把握
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上
	7. プログラムへの参加率・利用率向上
	8. 不調の早期発見・対応
	9. ヘルスリテラシー・意識向上
	10. 仕事のストレス要因低減
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上
	12. 周囲のサポート力向上
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善
	14. 健康状態・心理指標改善
	15. アブゼンティーズム改善
	16. プレゼンティーズム改善
	17. ワーク・エンゲイジメント向上
	18. 従業員エンゲージメント向上
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）

実施概要・結果
<p>ロボストレスチェック&意識調査等のデータを活用し、人的資本経営の中核となるウェルビーイング、心理的安全性向上の施策、対策構築支援、研修等を行います。</p> <p>★客観データに基づく分析 顧客企業・組織で独自調査されたデータの分析、その後の展開の実施、支援を行います。</p> <p>ウェルビーイング、心理的安全性ともその概念構築を行い、両概念の実現により、職場風土の改善、十分な価値創出につながる体制を構築します。</p> <p>必要に応じて、意識調査の設計からの対応も行います。データベースとしてロボがこれまで蓄積してきたデータベースの活用も行っていきます。</p> <p>★会社・組織全体への展開 調査結果の展開では、前述の経営陣への報告会、管理職層への報告及びワークショップ・研修の実施、状況に応じて新たな職場改善の仕組み作り、人材育成支援、人事制度の改善等も行っていきます。</p> <p>その具体的方法として、ビジネススクール型のケースメソッドを十分活用します。単なるケーススタディと異なり、ケース討議を通じて、企業経営、職場風土醸成といった組織的対応に展開可能な内容となります。</p>

成果・評価コメント ※「該当する効果」との対応がわかるよう（ ）内に効果のNoを付記する

現在、ストレスチェックデータ及び意識調査を活用した組織課題、各職場単位の課題の客観的分析を行うとともに、経営陣への報告会、各部署の管理職、監督職とともにワークショップ形式での研修を行っています。社内で実施した他社調査とロボで実施した調査のデータを突合ならびに統合することで、さらに詳細に課題の把握、対応策の構築も実施することもあります。

導入企業からの評価

ストレスチェックの分析のみに留まらず安全衛生全般について、専門的な側面より支援いただいている。分析結果の報告書は非常に分かりやすく、自社の状況を的確に把握することができるものとなっている。

また、常に産業医2名（内科医・精神科医）と直接連携いただき、中からは見えない社員健康保持増進について、表面的な分析ではなく、深層的な要因を掘り下げて分析いただき、当社にとって今何が必要か、分析結果を今後の組織改善にどのように活かせるか、具体的な提案と有効な対応策を共に検討いただいている。

評価者情報				
個社ごとの評価結果を根拠とする場合	企業名①	匿名	業種	教育、学習支援業
	部署名・役職		従業員規模	50人以上1,000人未満
	企業名②		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名③		業種	
複数社からのアンケート結果を根拠とする場合	部署名・役職		従業員規模	
	企業名④		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名⑤		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
複数社からのアンケート結果を根拠とする場合	アンケート対象及び回答社数			
	実施時期・方法			
	主な設問内容			